

○事業所名	放課後等デイサービス・児童発達支援 なかま		
○保護者評価実施期間	令和8年3月11日		～ 令和8年3月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	62	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	令和8年 4月1日		～ 令和8年4月11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・フロアごと(単位ごと)で特色やプログラムが違うものとなっているため、それぞれの成長や能力に応じてご自由に選択していただけます。 ※集団での療育(第1単位)・個別での療育(第2単位)	・どちらのフロアも自由にご利用いただけますが、個別での療育(第2単位)の方がより身辺自立を目的としたプログラムに取り組んでおります。(掃除・洗濯・食器洗いなど)	・定期的なフロアミーティングにより前日の振り返り、当日の留意点、またプログラムの見直し等を行っており、ご利用の方の声や職員からの意見を取り上げ、常により良いものになるように作り上げています。
2	・未就学児から18歳までの子どもたちが同フロア内で一緒に活動しているため、小さい子への配慮やマナーについてより学ぶ機会があります。	・年齢やその方の能力に応じてプログラム実施の時間を分けたり、体格差等の観点から常に安全に配慮しながら支援を行わせていただいております。	・定期的なフロアミーティングにより前日の振り返り、当日の留意点、またプログラムの見直し等を行っており、ご利用の方の声や職員からの意見を取り上げ、常により良いものになるように作り上げています。
3	・土曜日、祝日も事業所を開所しているため、イベントなどを意欲的に行っています。また、夏休み期間も同様です。	・イベント毎に計画書及び報告書をしっかりと作成し、今後に繋げていけるよう取り組みを行っております。	・報告書において、良かった点・反省点・改善点をそれぞれにまとめ、ミーティングの場において今後活かすための振り返りを行っております。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ご利用の受け入れに際して様々な障がい・特性の方がいらっしゃるため、どのようにして安全を保ちながらそれぞれに合った支援を行えるのが課題です。	・障がいの程度や年齢、性別などに応じて注意すべき点などが異なるため、どのような支援や活動への参加を促していくのが効果的か模索しながら日々支援を行っています。 また、強度行動障害をお持ちの方への対応や他児との関わり方が難しいと感じる場面があります。	・フロアでの連携を図りつつ、支援員が相互に声を掛け合い、常に広い視野を持って取り組むことや工夫が必要だと考えております。毎朝のミーティングの機会を建設的に進めています。 また、強度行動障害支援者研修の修了者を中心に、曜日が回まらないように振り分けたり勉強会なども行っています。
2	・年齢でフロアを分けていないため、未就学児から18歳までの子どもたちが同じフロアにて活動している点が、強みでもありますが弱みでもあります。	・プラスの要素もある反面マイナス要素もあるため、常に安全に配慮しながら支援を行なわせていただいております。	
3			